

令和6年度事業報告について

(公社)雲南市シルバー人材センター

1 事業活動の概要

令和6年度 我が国の経済は、ここ30年間の長きにわたった『コストカット最優先』の対応を続けてきました。

人への投資や賃金、さらに未来への設備投資・研究開発投資までもがコストカットの対象とされ、消費と投資が停滞し、更なる悪循環を招く結果になったとしています。

低物価・低賃金・低成長に象徴される『コストカット型経済』から脱却し、デフレに後戻りせず「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を確実なものとする為、日本経済・地方経済の成長、物価高の克服及び国民の安心・安全と持続的な成長に向けた『総合経済対策』を策定・予算化し、3年程度の「変革期間」を視野に入れて、集中的に講じていきますとしています。

そうした中、我が国の景気は内需主導で緩やかな回復が続く見通しで、好調な企業収益を起点に、物価高を上回る賃上げや設備投資の拡大などの前向きな動きが広がると予想されています。

雇用・所得環境の改善などを背景に、個人消費は緩やかに持ち直す見通しで、人手不足感の強まりなどを受けて企業は労働者確保に向けた賃上げの動きを強めており、賃金は今後も高い伸びが続く見込みで、この事により実質賃金は前年比プラスでの推移が定着していく見通しとしています。

今後、シルバー事業を推進していくために、人口減少に伴う労働力不足が大きな課題であり『2035年、日本の労働市場では労働力不足』が現在実感している倍になるとしています。

多くの企業が定年後のシニア世代を非正規社員として再雇用してきましたが、コロナ禍終息以来、経済状況が不透明になり、シニア世代に限らず被雇用者全般に対する企業の目線がシビアなものへ変化しました。

コロナ禍を機に従来の働き方を見直し、担当職務を明確にした上で採用を行うジョブ型雇用（適応能力がある人だけを雇用する少数精鋭主義）に移ってきています。

企業へのシルバーの派遣事業も前述した事由もあつてか、合理化が図られ

派遣切りも起こり一時求人が減りました。

この状況を払拭すべく、担当職員による市内・近傍の企業・事業所への積極的な訪問、PR チラシの配布、また年末年始には理事の皆さんに、あいさつ等、企業訪問を行っていただいた結果、大きく受注件数が上がりました。

2030、2035 年の「人手」と「働く時間」の調査では就業者が増えるにも関わらず労働力不足が深刻化する背景には「労働力は『人手』から『時間』で捉える時代へ」と言われ、①就業者全体の中で、短時間で働く傾向にあるシニアや女性、外国人などの占める割合が大きくなること。また、②働き方改革の影響により、就業者全体の働く時間が短くなることで、就業者の数が増えていくものの、労働需要に追いつかず、労働力不足は深刻化していくものとしています。

会員数の持続的な拡大に向け、特に女性会員数の拡大や、企業退職（予定）者層への働きかけ強化の取り組みを引き続き行い、80 歳を超えられても活躍できる就業機会の創出に努めます。

当センターの事業実績は、下記に記述しますとおり一時的に会員数及び契約金額とも平成 27 年度には下げ止まりとなり、令和元年度以降会員及び役職員の努力はもとより、地域の皆様、行政をはじめとする関係機関のご支援により計画目標の伸び率に乘りましたが、インボイス制度が導入され受託事業から派遣事業に一部切り替えて事業推進をしました。

また、安全就業については、安全第一の就業を目指していましたが、残念ながら 1 件の事故が発生しました。

地区担当者と無事故就業対策について協議し、再発防止の徹底を図りました。特に令和 2 年度から始めた伐採・剪定作業の『ライセンス』更新の会員さんもあり再度講習会を開催し、該当する会員全員の皆さんの安全就業の徹底を図っています。

通常は除草・草刈り・剪定作業において、会員自ら『就業前の安全点検表による点検・点呼・確認』の安全自主点検を行い安全意識をもって就業し、傷害事故を無くすことを主眼に取り組んでいます。

インボイス制度の導入に伴う当センターの対応は令和 6 年 4 月 1 日から事務費率 12%から 15%に改定しました。

発注者の理解を得るためこれを契機に当センターとしても、的確な就業会員配置による仕事完成度の向上、依頼から契約・着工までの期日短縮、アフターサービスの充実など発注者に満足いただけるような付加価値を付けたシルバー事業としました。

今後、先述したように国内外の社会経済情勢は全く予断を許しません、高齢化社会の受け皿となるシルバー事業を今後ますます発展させていくためには、公益社団法人として市民の目線に立ち、多様化する社会的要請や企業要請などの社会経済環境の変化に的確に対応していくことが重要となります。

今後とも、安全就業を第一とし、派遣事業の積極的な取り組みなど国の施策の動向を注視し、県連合会及び近隣のシルバー人材センターとの情報を密にしながら就業機会の拡大を目指し、お客様に「安心と信頼」される魅力あふれるシルバー人材センターを構築していく必要があります。

以下、令和6年度において実施した事業の概要を報告します。

2 事業実績（10年の軌跡）

（数値は、請負・委任と一般労働者派遣事業を合計した数値）

年度	会員数 (人)	粗入 会率 (%)	就業延 人員 (人)	就業率 (%)	受託 件数 (件)	契 約 金 額 (千円)			
						計	公共 関係	企業 関係	一般 家庭
27	370	2.1	23,561	90.5	4,231	130,541	26,889	53,354	50,298
28	373	2.1	24,913	89.2	4,259	139,737	30,476	57,273	51,988
29	391	2.2	26,656	91.6	4,420	147,194	29,412	66,243	51,538
30	414	2.4	29,580	90.6	4,627	170,190	42,677	76,940	50,573
元	428	2.5	33,458	87.1	4,620	198,225	47,240	98,806	52,209
2	436	2.5	32,523	83.7	4,544	194,807	58,694	85,910	50,203
3	454	2.6	35,805	88.1	4,601	205,085	60,635	95,042	50,616
4	466	2.7	37,638	89.4	4,759	226,758	64,083	107,067	55,608
5	458	2.8	36,072	93.0	4,788	221,909	66,824	98,397	56,680
6	460	2.8	34,943	90.6	4,627	221,737	69,649	90,939	61,149
前年度比較	100.4%	±0.0	96.9%	-2.4	96.6%	99.9%	104.2%	92.4%	107.9%

3 実施報告

(1) 安全・適正就業について

1) 事故発生状況

・安全就業推進実施計画に基づき、安全な就業は全てに優先し、労働関係諸法規の法令を遵守し、安全・適正な就業に努めましたが、傷害事故が1件発生しました。

傷害事故の1件は、民家裏山の草刈り作業に於いて竹の切り株に躓き滑って転び、その際草刈り機のハンドルが胸に当たり左胸を痛めた。

2) 安全衛生委員会

・元年度からシルバー派遣事業における安全衛生管理について基本的な事項を定め、シルバー派遣会員の安全と健康を保持するとともに、災害及び事故を未然に防止することを目的とする衛生委員会を設置して、1回／月の衛生委員会を開催し協議を行っています。

また、新型コロナウイルス感染症は令和6年4月以降、季節性インフルエンザと同じ「5類相当」に引き下げられ”普通の病気”になりましたが産業医の先生のご指導の下、新型コロナウイルス感染症またインフルエンザ、熱中症等の予防対策情報を、会員の皆さんに引き続き情報提供を行っていきます。

(取 組)

- ① 安全指導推進員による安全パトロールの強化（16回）
- ② 班会で安全就業講話及び就業に関する危険作業や偽装請負の自主点検について意見交換を実施
- ③ 公平な就業機会の推進（ローテーションの推進）
- ④ 事務局だより（2回発行）による安全就業の奨励
- ⑤ 安全・業務委員会による現場パトロールの実施（1回）
- ⑥ 安全衛生委員会の開催、職場の安全衛生巡視、産業医による健康対策

(2) 会員の増強について

会員の拡大は、当センターの最重要施策として取り組み、多様な発注ニーズに対応するため、下記の運動を積極的に取り組み会員の確保に努めています。

新規会員は41名、また病気や家庭事情での退会者が39名あり、今年度末

の会員数は前年の 458 名に対し 460 名と 2 名の増となった。

(取 組)

- ① 入会説明会を月 2 回開催（説明会参加 65 名）
- ② 一会員一人勧誘のロコミ運動
- ③ 後期高齢者等及び加入時期に配慮した会費制の導入
- ④ 市内各交流センターへ事務局だよりの配布

(3) 就業機会の拡大について

就業拡大は、会員拡大と併せて当センターの最重要施策として取り組んでいます。

会員及び役職員は「みんなで開拓、みんなで就業」を基本とし、次年度以降もあらゆる機会をとらえて就業開拓に積極的に取り組みます。

(取 組)

- ① 就業開拓推進員（兼務地域連絡員）を 6 地域に 7 名配置
- ② 役職員等による年末年始の企業訪問（約 65 社）実施
- ③ 請負事業から派遣事業へ積極的な切替え（専属職員を配置）

（受注件数 111 件 就業延べ人数 11,243 人日）

- ④ シニア就業相談会の開催

（5/17 木次、8/22 加茂、11/21 大東、2/19 木次）

- ⑤ 指定管理者制度（創生館、及び掛合野球場）の継続受託
- ⑥ 斐伊児童クラブの運営業務（ローテーション就業）

児童見守り業務(クラブ利用者 51 名)、開所日（年間 250 日）

職員 13 名(支援員 7 名、補助員 6 名 計 13 名)

- ⑦ 行政機関等に対し令和 6 年度の予算要望、委託事業の確保の要望活動
（令和 7 年 1 月 7 日には 石飛雲南市長、糸原健康福祉部長、及び
雲南市議会松林議長、原副議長への予算要望と意見交換を行いました。）

(4) 普及啓発の推進について

広く雲南市民に対し、シルバー事業の理念、意義、事業活動状況を地元テレビや新聞、一般研修、ボランティア活動を通し、会員拡大や就業拡大の普及啓発に努めた。

(取 組)

- ① 市内 11 か所で 206 名の会員が参加しボランティア作業を実施
- ② 毎月ケーブルテレビ等地域の媒体を活用した普及啓発を実施
- ③ ホームページ及び自治体の広報誌、新聞を活用した普及啓発を実施
- ④ 会員を対象とした講習会を開催
 - ・ 剪定講習会 (実技) (R6 年 11 月 25 日 参加者 会員 12 名
於：木次中学校 (校舎周辺))
 - ・ 除草 (刈払い機) 取り扱い安全講習会(座学のみ)
(令和 6 年 12 月 2 日 参加者 会員 7 名 於：斐伊交流センター)
 - ・ 剪定伐採作業就業資格取得安全講習会 (R6 年度 4 回開催)
(参加者 会員 6 名 於：シルバー人材センター)
対象者：剪定、伐採作業従事者、新人の方、剪定クズの寄せ方のみの方、
運搬のみの方
 - ・ 刈払い機作業就労資格取得安全講習会 (R6 年度 5 回開催)
対象者：草刈作業従事者、新人の方、草の寄せ方のみの方、車両の監視
のみの方草の運搬のみの方
 - ・ 剪定・伐採作業就労資格更新講習会
対象者：剪定、伐採作業 有効日が令和 6 年 3 月 31 日までの方
(1/19 参加者 17 名 於：大東交流センター)
(1/22 参加者 8 名 於：シルバー人材センター)
(2/5 参加者 23 名 於：一宮交流センター)
(2/19 参加者 15 名 於：斐伊交流センター)
(3/11 参加者 10 名 於：シルバー人材センター)
(3/18 参加者 4 名 於：大東連絡所)
(3/25 参加者 1 名 於：大東連絡所)
- ⑤ 「利用者アンケート」調査を実施(90%以上の方が総合的に満足と回答)

(5) 財政運営の健全化について

令和 6 年度に策定された財政健全化指針に基づき財政基盤の強化を図っています。

令和 6 年度も引き続き指針を踏まえ、効率的な財政運営に努め、積極的に就

業拡大を図る一方、市当局に対し財政支援及び委託事業の拡大を要請するなど財政基盤の安定化に努めました。

(取 組)

① 派遣事業（新規 8 事業所）の積極的な取り組み

(参考：新規事業所)

(株) 光栄刺シュウ・三葉タクシー (有)・島根ナカバヤシ(株)

② 雲南市長及び市議会議員へ補助金の確保、及び委託事業の拡大に対する支援の要望と意見交換の実施

③ 効率的な財政運営

(6) 組織の充実について

センターは情報発信基地であり、情報の共有化を図るため、各種会議を開催し、当面の課題とするフリーランス新法施行、新しい契約（包括契約）伴う講習会・会議・各種研修会を行いました。

(取 組)

① 理事会（6 回）及び専門委員会（2 回）の開催

② 安全衛生委員会開催（1 回／月、職場の安全巡視）

③ 各地区班会（11 か所）の開催

④ スマートフォン講習会開催（アプリ取得 206 人／会員 460 人、講習会参加 142 人）

⑤ 事務局長会議及び安全就業・会計事務研修会等リモートでの参加